

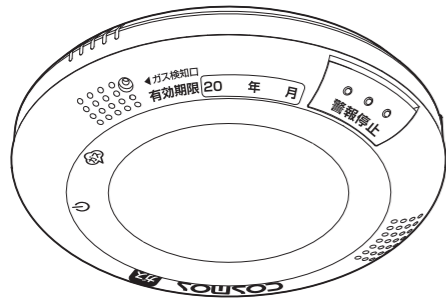
家庭用・業務用兼用

ガス警報器

型式名 **XL-275G**

施工説明書【施工される方へ】

お客さまにこの警報器を安全に正しくご使用いただくために、この施工説明書をよくお読みいただき、指定された取り付けを行ってください。



1 お願いとご注意

警報器を正しく設置していただくため、また、あなたやお客さまへの危害や財産への損害を未然に防止するためにこの施工説明書には、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告 作業を誤った場合に、取付作業者および使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 作業を誤った場合に、取付作業者および使用者が傷害を負う場合または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

2 施工される方へのお願い

- 取付終了後に施工説明書に従って「6-1 自動初期点検機能の確認」、および必要に応じて「6-2 作動点検」を行ってください。なお、作動不良の場合は交換してください。また、外部機器と連動した場合は、外部機器の取扱説明書、施工説明書に基づいて連動確認をしてください。
- 必要に応じて、「3-1 警報器の説明」「3-2 お客さまへの周知事項」についてお客さまに説明を行い、ご理解を得てください。
- 警報器を梱包から出された状態で持ち運びまたは保管しないでください。

注意 警報器には、落下などの強い衝撃を与えないように、取り扱いには十分に注意してください。故障や誤作動の原因になります。

別売部品

部品名	型式名	機能
警報器アダプター	OC-5a	マイコンメーターと接続する場合に使用。(有電圧出力信号を受けて、フォトランジスタオープンコレクタ出力を出す)
戸外ブザー	EB-8	離れた場所に警報を出したい場合に使用。(有電圧出力信号を受けて、ブザー断続音とランプ点滅で知らせる)

3 お客さまへの説明について

3-1 警報器の説明

- ①警報動作および自動初期点検機能の結果の説明。作動点検をした場合は、作動点検の結果の説明。
- ②取扱説明書を必ず読んでいただくこと、取扱説明書を保管していただくことをお願い。
- ③取扱説明書に基づく主要な機能の説明と確認。
 - 1.ガス警報の内容(赤(ガス警報)ランプ点滅・点灯、音声合成音の確認)と、警報時にとるべき処置の説明。
 - 2.部屋の外にいて、ガス警報に気づいたときにとるべき処置の説明。
 - 3.誤報が発生する原因と処置の説明。
 - 4.スイッチ操作の説明。
 - 外部機器との連動点検
 - 有効期限切れ音声機能
 - 警報音停止

3-2 お客さまへの周知事項

- ①保証期間5年。
- ②警報器の有効期限のお知らせ。(本体に貼付の有効期限ラベルに表示)
- ③保証書を必ず読んで内容を理解した上で取り扱うこと。
- ④警報器の移設禁止。(移設依頼時の連絡先)
- ⑤警報器の分解禁止。
- ⑥引越時の処置。
- ⑦故障・異常時の連絡先。

4 取り付け前の確認

4-1 警報器の確認

取り付ける警報器が空気より軽い12A・13Aガス用であり、本体に異常のないことを確認してください。

4-2 梱包部品の確認

梱包部品の種類と個数を確認してください。

本体…1個	施工説明書(本書)…1枚
取扱説明書(保証書付)…1冊	

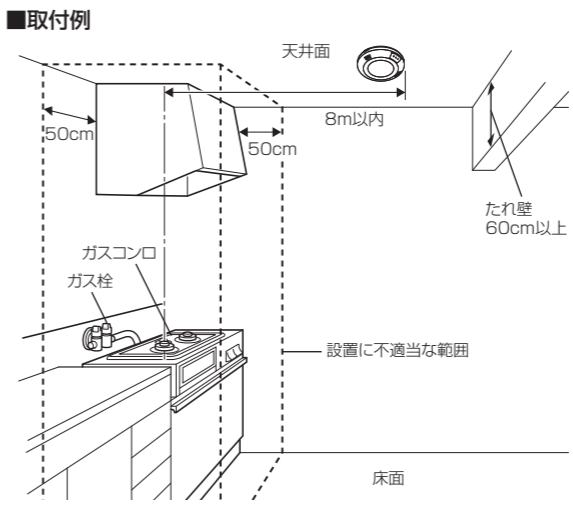
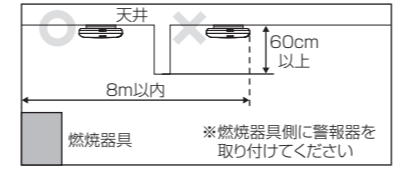
4-3 取付位置の確認

設置場所の選定については、お客さまとよく相談して決めてください。

注意 正しい取付位置に取り付けてください。取り付けがはけない場所に取り付けると、警報の遅れ、誤報、故障の原因となります。

正しい取付場所について

- ガスを検知しようとするガス機器を設置している場所と、同一の室内に取り付けてください。
- ガスが滞留しやすい位置で、緑(電源)ランプの確認しやすい位置、点検が容易にできる場所へ取り付けてください。
- ガスを検知しようとするガス機器(一定位置に固定しないで使用されるガス機器の場合はガス栓)から、水平距離で8m以内に取り付けてください。
- 天井面が60cm以上の突出したたれ壁などによって区画される場合は、たれ壁より燃焼器具側に取り付けてください。



取り付けはけない場所について

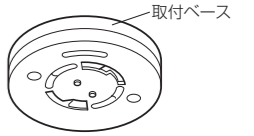
以下の場所には、絶対に警報器を取り付けしないでください。

- レンジフード内やレンジフード本体への取り付け。アルコール等で警報することがあります。
- 換気扇、給気口、ドア付近など風通しの良い場所。
- すき間風の入る場所。
- 30cm以上(警報器含)のたれ壁などの下。
- カーテンウォールなどで仕切られた場所。警報が遅れます。
- 振動、衝撃の激しい場所。センサの故障の原因になります。
- 燃焼器具などの排気、湯気、油煙および調理用アルコールの蒸気が直接かかる場所。センサ寿命が短くなったり、誤報の原因になります。
- 浴室内、水のかかる場所、水滴がつく場所。感電や電氣的故障の原因になります。
- 温度が-10~+50°Cの範囲を超える場所。警報器としての機能を果たしません。また、誤作動の原因になります。
- 屋外。屋外用ではありません。
- 工業用。工業用ではありません。

5 取り付けかた

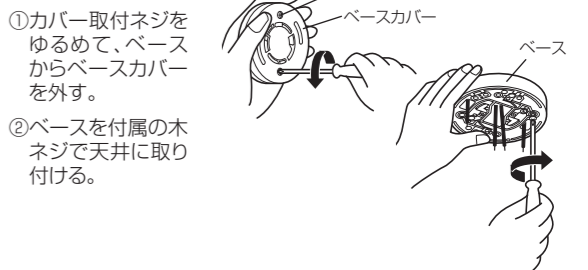
5-1 取付ベース(別売品)の取り付け

取付ベースに付属の取付説明書に従って取り付けてください。



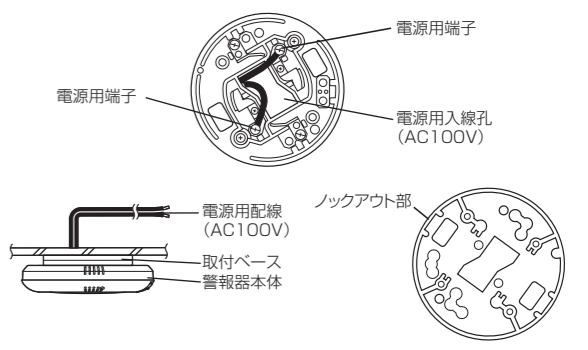
注意 ●警報器の電気工事は、必ず電気工事に依頼してください。一般の方は、電気工事をする事ができません。●金属管またはボックス内に電源用配線と外部出力用配線を同一配線するときは、外部出力用配線は600V絶縁電線でφ1.2mm以上のものを使用してください。●端子は内側が電源(AC100V)用、外側が外部出力用です。誤結線しないように注意してください。誤配線すると内部回路が破損します。また、ガス警報外部出力用配線は、極性がありますので、正しく接続してください。

取付ベースの取付寸法 ●ベースの取付寸法はピッチ66.7mmです。●ボックスに取り付ける場合は下記のボックスに適合します。**[適合ボックス]** JIS C8340 アウトレットボックス・コンクリートボックス**[適合ボックスカバー]** JIS C8340 丸穴カバー



③電源線を電源用端子に、外部機器に連動させる場合は、ガス警報外部出力用信号端子にそれぞれ下図のように配線する。

電源線のみを配線する場合



外部機器に連動させる場合

